

4 単著合同合評会



由井秀樹

『人工授精の近代——戦後の「家族」と医療・技術』（青弓社、2015年）

利光恵子

『出生前診断と受精卵診断

——その導入をめぐる争いの現代史』（生活書院、2012年）



山本由美子

『死産児になる——フランスから読み解く

「死にゆく胎児」と生命倫理』（生活書院、2015年）

小門穂

『フランスの生命倫理法

——生殖医療の用いられ方』（ナカニシヤ出版、2015年）



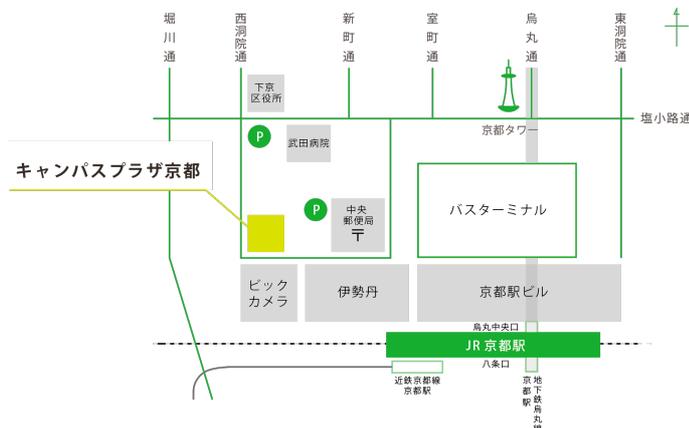
- 13:30 開催挨拶 松原洋子（立命館大学）
- 13:35 『人工授精の近代』 解題 由井秀樹（立命館大学）
- 14:05 『出生前診断と受精卵診断』 解題 利光恵子（立命館大学）
- 14:35 コメント 溝口元（立正大学）
- 14:55 ディスカッション
- 15:15 休憩
- 15:30 『死産児になる』 解題 山本由美子（大阪府立大学）
- 16:00 『フランスの生命倫理法』 解題 小門穂（大阪大学）
- 16:30 コメント 丸岡高弘（南山大学）
- 16:50 ディスカッション
- 17:10 終了

2015年12月20日（日）

キャンパスプラザ京都2F、第1会議室

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

参加無料・申し込み不要



主催：立命館大学生存学研究センター若手研究者研究力強化型プロジェクト「出生をめぐる倫理研究会」

お問合せ：ars-vive@st.ritsumei.ac.jp

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

※公共交通機関をご利用になりご来場願います。